

事務事業名 ちくしの歴史・文化発信事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：694

施策：	21	歴史・文化の継承と振興	財務コード	01090608-03-00
基本事業：	03	歴史学習の機会提供	担当部	教育部
基本事業の成果指標	歴史文化に関する学習会等に参加した市民の数 歴史文化に関する体験学習等に参加した児童生徒の数		担当課	文化財課
			担当係	博物館・史跡整備担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市民、在勤・通学者、福岡都市圏住民 教育・研究機関 歴史、文化・芸術関係団体			常設展は、通年展示しており、交通の要衝として栄えた本市の特徴を生かして「交易と旅 - 文物の交流、人々の往来、時空の旅 -」を基本テーマとして、原始から近代に至る「通史」展示として構成しています。 企画展は、平成30年度については、「武蔵寺と二日市温泉 - 経塚発掘50周年 -」展（会期4/21～7/1、講座2回）、「明治維新と宿場町（第5回収蔵資料展）」展（会期7/21～10/28、講座2回）、「昔のくらし - 筑紫野にある民家のすがた -」展（会期12/1～3/17、小学校学習支援〔体験学習〕）です。 他には、九州国立博物館特別展の展示解説講座「しつとこ九博」（3回）、古文書保存基礎講座、中学生職場体験受け入れ、見学（総合的な学習、団体）、講師としての職員派遣、博物館ボランティア（定例会・月1回、研修会1回、ロビー体験、小学生夏季体験講座、生涯学習フェスタ）を実施しました。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
地域への理解を深め、市民の自治能力の向上を図ります。 市民に対し、学習意欲の喚起を促し、地域学習の推進を図ります。 市の施策・事業や市民活動に対し、資料提供、助言を行なうとともにこれを支援します。 学校教育に対し、資料提供、並びに教育支援を行います									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	29年度 実績	30年度 実績	01年度 当初	02年度 要求	03年度 計画	04年度 計画	目標
問い合わせへの学習支援数		回	288	290	300	300			
来館者数		人	25,633	23,903	16,000	16,000			
5. コスト									
事業費		計	千円	4,231	2,838	1,954	2,179		
		国	千円		0	0	0		
		県	千円		0	0	0		
		地方債	千円		0	0	0		
		その他 一般	千円	4,231	2,838	1,954	2,179		
正職員人工数		人工							
正職員人件費		千円							
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	4,231	2,838	1,954	2,179			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）	歴史文化に関心を持つ人が多くなるよう、企画展・講座・ロビー体験などを開催しています。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	学芸業務に携わる職員が不足しており、事業運営に支障をきたしています。一方で、学習指導要領が改正され、博物館の積極的利用が明記され、また、それに対応すべく学校現場との連携が強く望まれており、新たなメニュー作成やゲストティチャーなど学芸員の業務量が増えています。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり						
成果向上余地	大きい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
常設展については、平成31年に開館から20年を経過することから、機器の老朽化が喫緊の課題であり、展示リニューアルを検討する必要があります。			企画展については、平成10年秋の開館以来、年4回開催を基本としていますが、より魅力的な展示を講じていくために、計画性を持った展示案の策定が必要です。 また、企画展以外にも九州国立博物館との連携し各種講座、体験活動、ボランティア育成等の活動を有機的に連動させた事業運営を講ずる必要があります。						
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄						
再任用職員（短期）1名と嘱託（学芸員）2名で学芸業務を進めており、正規職員の学芸員が不在の状況となっています。このため、企画展をはじめ、学習支援などの円滑な業務推進に支障が出ています。									